

平成24年4月、医療福祉学科^{※1}・医療心理学科^{※1}誕生！

医療福祉学科^{※1}・視能訓練専攻

関西の4年制大学初！
視能訓練士の資格取得が目指せる。

視能学から視能訓練学、視能矯正学など視覚に関する幅広い技術と専門技術を身に付けるとともに、相手の立場になって物事を考えられる福祉のやさしさを学び、視能訓練士の国家資格取得を目指します。

取得可能な資格

視能訓練士(国)受験資格^{※2}、社会福祉主事任用資格

就職ステップ
(一例)

大学

卒業
▶▶

視能訓練士受験資格取得

合格
▶▶

視能訓練士

就職
▶▶

眼科病院・総合病院へ

医療心理学科^{※1}・言語聴覚専攻

心理学の知識を身に付けて、
相手の気持ちを理解できる言語聴覚士へ。

聴覚や言語、^{えんげ}嚥下の障がい分野をはじめ、幅広い専門知識と技術を身に付けます。また、対象となる子どもや相手の気持ちを理解して支えるための心理学などを学び、より質の高い言語聴覚士を目指します。

取得可能な資格

言語聴覚士(国)受験資格^{※2}、認定心理士

就職ステップ
(一例)

大学

卒業
▶▶

言語聴覚士受験資格取得

合格・就職
▶▶

言語聴覚士

▶▶

総合病院・施設へ

※1 平成24年4月開設予定(届出設置書類提出中)・収容定員増加の認可申請中。学科/専攻名称、入学定員及び取得可能な資格は変更になる可能性があります。※2 指定養成施設申請中

OPEN CAMPUS

新しく生まれ変わる大阪人間科学大学を実際に見て・聞いて・触れるチャンスです。体験授業や先生・在学生とフリートークなど多彩な内容。在学生スタッフに、授業、資格、就職、大学生活のこと、何でも気軽に質問してください。

6.26 sun
10:00～15:00

7.24 sun
10:00～15:00

8.7 sun
10:00～15:00

8.28 sun
10:00～15:00

9.11 sun
10:00～15:00

10.2 sun
10:00～15:00

10.23 sun
10:00～15:00

プログラム

●大学説明会 ●在学生とキャンパスツアー ●学食体験 ●体験授業 ●保護者説明会 ●個別相談 ●学び発見コーナー など

参加特典

●参加された方の入学試験検定料を5,000円減額！
●オリジナルグッズをプレゼント！



を支えるお仕事

平成24年4月「医療福祉学科^{※1}」「医療心理学科^{※1}」誕生！

※平成24年4月開設予定(届出設置書類提出中)・収容定員増加の認可申請中。

ぼやける、
かすむ、
くもる…
「見えにくい」も
様々です。

例えば手にケガをして痛むとき、擦り傷の痛みなのか打ち身の痛みなのか火傷の痛みなのか…。一口に「痛む」といってもたくさん種類がありますよね。視覚も同じです。突然、眼が見えにくくなった時にはぼやける、かすむ、くもるなど様々な症状があります。視能訓練士は、そんな症状を詳しく検査して、眼にどのような異常があるかを調べる仕事。今まで見えてたものが、突然見えにくくなって不安を抱える患者さまに、原因を究明して少しでも不安をクリアに。大好きな人、映画、漫画、テレビ、風景…みんなの「見たい」気持ちを視能訓練士は支えます。

視能訓練士は、
「見える」を支える
お仕事です。

視能訓練士について

視能訓練士とは眼に何らかの異常や違和感をかかえている方々のために、検査や機能回復訓練をする国家資格の医療専門職です。一般の人も馴染みの深い視力検査をはじめ、視野、視覚、眼圧などの診察や治療のために様々な機器を用いて検査を行います。また検査以外にも、斜視や弱視の子どもへの訓練や高齢者のロービジョンのリハビリなどの業務も視能訓練士の仕事です。職業の特徴として現職者は女性が約9割といわれ、夜勤や休日出勤も少なく、結婚・出産による一時的な離職の後も、眼科医療の分野で専門技術を要望する声の高まりから、復職の可能性も高く、生涯活かすことのできる女性にとってうれしい資格といわれています。

大阪人間科学大学から視能訓練士へ。 [詳しくは裏面へ。](#)

もし、突然
うまくしゃべることが
できなくなったら、
どうしますか。

放課後にクラスメイトとおしゃべり、ケータイで親友に恋愛相談、部活の帰りにファミレスなど…。誰だっておしゃべりは好きなこと。でも、そんなおしゃべりが突然うまくできなくなったらどうしますか。話そうと思っても、話せない。何となく思い浮かぶけど、ことばがでてこない。話しかけられても何を言われているのか分からない。言語聴覚士はそんなコミュニケーションをうまくとることができなくなった人にリハビリや助言などを行う仕事です。患者さまの中には、突然うまく話せなくなったことがもどかしくて口を閉ざしてしまう方もあるほど、うまく話せないというのはストレスになります。だからこそある日、昨日まで話すことができなかったことばを患者さまが言えるようになる。それはまさに、「コトバ」にならないほどの喜びなのです。

言語聴覚士は
「話したい」「聞きたい」「食べたい」
を支えるお仕事です。

言語聴覚士について

言語聴覚士とはコミュニケーションが困難になった人に対してリハビリテーションを行う専門職です。具体的には、ことばを話したり、理解することが困難になった人、唇や舌が麻痺して話しづらくなった人、聞こえが悪くなった人、言語の発達が標準より遅れている子どもたちなどに検査や訓練、助言を行います。うまく話せない失語症の患者さまには単語カードを使った発声訓練や書き取り訓練を、食事をうまく摂れない方には嚥下訓練などを行います。言語聴覚や食事の障がい^{えんげ}は長期間のリハビリを必要とする場合も多く、じっくりと患者さまと向き合うやりがいのある仕事です。

大阪人間科学大学から言語聴覚士へ。 [詳しくは裏面へ。](#)